

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | | |
|----------------------------------|---|---|
| 事故等番号 | 2009広第76号 | |
| 事故等種類 | 衝突 | |
| 発生日時 | 平成21年2月1日 12時50分ごろ | |
| 発生場所 | 愛媛県宇和島港 | |
| 事故等調査の経過 | 平成21年3月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 | |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 | A 漁船 第三好宝丸、324トン 136515、有限会社織田水産 B 漁船 第二十一覚栄丸、198トン 120431、株式会社覚栄丸 | |
| 乗組員等に関する情報 | A 船長、四級海技士（航海） A 機関長、四級海技士（機関） B 船長、免状不詳 | |
| 死傷者等 | なし | |
| 損傷 | A 左舷船尾擦過傷 B 右舷後部擦過傷 | |
| 事故等の経過 | A船は、宇和島港築地棧橋に着棧作業中、B船は、同棧橋に係留中、平成21年2月1日12時50分ごろ、A船の機関の遠隔操作が不能となり、A船の左舷船尾とB船の右舷後部とが衝突した。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1 | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | なし あり なし A船は、機関遠隔操作空気系統のクラッチ切換シリンダ用リングが経年硬化して同空気が漏洩し、機関の遠隔操作が不能となった可能性があると考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、宇和島港において、A船が着棧作業中、B船が棧橋に係留中、A船が、機関遠隔操作空気系統のクラッチ切換シリンダ用リングが経年硬化して同空気が漏洩し、機関の遠隔操作が不能となったため、B船と衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。 | |